

令和2年産水稻移植時期の水不足対策

令和2(2020)年3月12日

塩谷南那須農業振興事務所

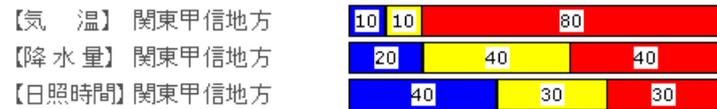
今冬の積雪量は少なく、水稻春作業時期の水不足が懸念されることから、計画的に育苗やほ場の準備を進めましょう。

I 春作業時の水不足対策

1 今後の気象予報

- ・宇都宮地方気象台発表(令和2年3月5日)の1か月予報では、気温は高く、降水量は平年並～多い見込みとなっている。
- ・しかし、山間部の降水量、積雪量は平年より少なく、昨年同様、春作業時期の水不足が懸念される。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

ダム貯水状況等(3月9日 9時)

	貯水率 %	平年比 %	直近一ヶ月の 降水量平年比%
鬼怒川水系	91	127	47
那珂川水系	85	111	47

※ 令和2(2020)年 農業用水情報(第1報) 令和2(2020)年3月9日農政部農地整備課より

累積降雪量、積雪量(R1年11月1日～R2年3月8日)

水系 (観測地点)	累積降雪量 の平年比%	積雪深cm	
		3月9日	平年値
鬼怒川 (奥日光)	30	0	15
鬼怒川 (土呂部)	79	0	37
那珂川 (那須高原)	132	0	5

※ 令和2(2020)年 農業用水情報(第1報) 令和2(2020)年3月9日農政部農地整備課より

2 育苗開始の注意点

- ・積雪量等の影響により用水が確保しにくい水系では、例年の時期に田植えができない可能性がある。土地改良区等からの情報収集に努め、育苗やほ場の準備を行う。
- ・水不足が予想される場合、浸種日を遅らせる。
- ・浸種した場合、水温を下げることで種子予措期間を長期化できる。
- ・浸種して2～3日(芽が出ていない)の場合は、一度網から出して乾燥させ、その後日陰で温度が低いところで保管することで、再度種子粃を使用できる。但し、半生乾きの部分があると、発芽にバラツキが出てしまうので注意する。



3 ほ場の準備と代かきの注意点

- ・早めに耕起を行い、稲わらや稲株を腐植させ、代かきがスムーズにできるようにする。
- ・畦畔のモグラ穴などによる漏水がないように点検する。
- ・水持ちが良くなるよう代かき作業は丁寧に行う。
- ・用水はかけ流しせず、節水に心がける。

II 田植遅延対策

1 田植時期別作業スケジュール

- ・田植予定日にあわせ作業を始める。

◇ 県北地域は「6月10日頃」が移植晩限【収量が移植最盛期の80%以上確保可能な時期】（中苗育苗にすることで1週間程度延長が可能）◇



※種子の浸種期間: 消毒種子 積算温度 120~130°C 温湯消毒種子 積算温度 100°C

図 播種時期及び育苗方法と田植え時期との関係

2 移植時期に応じた育苗の注意点

- ・播種量は、稚苗育苗 150g/箱(乾籾)、中苗育苗 100g/箱(乾籾)を目安とする。
- ・厚播き(200g/箱以上)による育苗は、育苗期間の高温や田植え時期が遅延した場合、病気の発生や苗の老化を助長するので避ける。
- ・中苗育苗で、肥料切れになった場合、箱当たり窒素成分 0.5~1.0g を追肥(水 10ℓに 50~100g の硫安を溶かし、20箱にジョウロで施肥)し、その後、水かける。
- ・ハウスで育苗する場合は、高温になりやすいので、ムレ苗や病気の発生に注意する。

3 施肥の注意点

- ・5月下旬以降の田植えでは、稈長が伸びやすくなり、コシヒカリでは倒伏が懸念されるため、窒素成分で1~2割程度減肥する。

4 栽植密度の確保

- ・田植えが遅くなる場合、穂数が確保しにくいいため、栽植密度を 60 株/坪以上にする。